

平成24年度決算を認定・平成25年度補正予算を可決

9月定例会に上程され審議されました、平成24年度の一般会計、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計、それぞれの決算の認定議案及び平成25年度の補正予算議案の概要を報告します。

[平成24年度決算額]

区分	歳入総額	歳出総額
一般会計	583億5,210万9,280円 (前年度比約14億9,800万円 2.5%減)	574億7,590万9,294円 (前年度比約5億5,300万円 1.0%増)
特別会計	223億6,093万1,979円 (前年度比約75億6,200万円25.3%減)	215億6,292万489円 (前年度比約63億5,200万円22.8%減)
水道事業会計	49億899万3,409円 (前年度比約1億3,800万円 2.7%減)	74億5,736万3,955円 (前年度比約11億3,000万円17.9%増)
下水道事業会計	76億4,002万3,304円	92億8,189万798円
合計	932億6,205万7,972円	957億7,808万4,536円

※事業会計は収益的収入支出と資本的収入支出の合算です。

議案第57号「鈴鹿市一般会計決算の認定について」(付託委員会:予算決算委員会)

歳入について

- 増加している主な科目は、市債10.1%、地方交付税1.6%、財産収入17.4%等。
内容は、中学校建設債や普通交付税、市有地売払金の増加等です。
- 減少している主な科目は、繰入金91.1%、繰越金45.7%、国庫支出金3.9%、市税1.2%等。
内容は、庁舎建設基金繰入金、繰越明許費、国庫負担金、市税の固定資産税の減少等です。

歳出について

- 増加している主な科目は、土木費15.4%、教育費16.2%、災害復旧費1,274.4%等。
内容は、街路事業費の街路整備事業工事費の増加、平田野中学校費学校建設費の校舎建築工事費と同屋内運動場建築工事費の支出、公共土木施設災害復旧費の工事請負費等です。
- 減少した主な科目は、消防費が12.2%、民生費は1.5%、商工費は19.2%等。
内容は、消防庁舎施設整備費工事費、私立保育所施設整備事業費、工業用地取得助成金の減少等です。
この結果、一般会計の実質収支は、歳入歳出差引額で8億7,619万9,986円となりますが、この中には、翌年度に繰り越すべき財源、繰越明許費繰越金2億3,860万8,000円が含まれており、これを差し引いた6億3,759万2,000円が当年度の実質収支額です。このうち3億5,000万円は、地方自治法第233条の2の規定に基づいて財政調整基金に積み立てます。

議案第43号「平成25年度鈴鹿市一般会計補正予算(第2号)」(付託委員会:予算決算委員会)

歳入歳出それぞれ4億6,016万円を追加し、総額を597億1,816万円にします。

補正の主な内容は、農業水利施設の耐震調査に係る費用、汲川原橋徳田線(庄野・国府区間)の街路整備事業等、若松・旭が丘・椿各小学校のプールの改修、鼓ヶ浦中学校の受電設備の改修に係る費用等を計上しました。また、市内各施設に設置されているAED更新に係る費用、小中学校の屋内運動場のガラス窓の飛散防止対策及び備品等の転倒落下防止に係る費用等も計上しています。